

新たな物価高騰対策支援を



いじま まもる
飯島 衛 議員



録画映像は
こちらをCHECK

【答】 どのような支援ができるか検討

問 重点支援地方交付金の中に、生活者支援と事業者支援があるが、町民へ新たな物価高騰対策支援の考えはあるのか。

答 企画財政課長 交 付金の限度額の提示がある。どのような支援ができるのか検討したい。

問 事業者支援にもなる、よしおか地域応援商品券事業やよしおか元気応援券事業があったが、第3弾の応援券事業を実施しては。

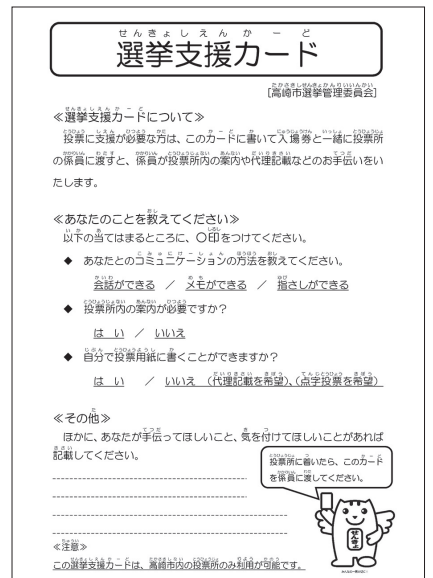
答 産業観光課長 商工会と協議し、どのような支援が必要か検討したい。

問 高齢者や障害のある人などへの投票時の支援として、「選挙支援カード」を導入してはどうか。

答 介護福祉課長 コミュニケーションボードについてはすでに設置。全ての有権者がより投票しやすくなるよう、選挙管理委員会に申し入れを行いたい。

問 ふるさと祭りが盛り上がり欠けていた。日程が前橋まつりと重なるため、検討の余地があると思うが。

答 町長 コロナ前とは違った形で、誰



より投票しやすく（高崎市のカード）

でも楽しめる祭りを目指したい。

問 花火大会や運動会、文化祭などのコラボレーションなども取り入れては。

答 総務課長 しんきちマルシエや、よしおか温泉マルシエなど、新しいイベントを開催した。祭りを中心に、多くの皆さんに楽しんでいただけるよう検討。

問 不登校の児童・生徒がこの2年間で前年度からの増加幅が2割を超えているとのこと。町の現状は。

答 教育長 令和4年度1年間において、病気以外で年間30日以上欠席のあった児童・生徒は3校で42人である。

問 不登校の子どもの保護者への支援がとても重要になってくると思うが、今後の対策は。

答 教育長 スクールカウンセラーの相談時間を増やし、保護者の相談や悩み解消のニーズに応えることや、吉岡町オープンドアサポート事業を行っており、教員でもカウンセラーでもない相談員が家庭訪問などを通じて、保護者の気持ちに寄り添った対応を行っている。今後は、保護者の相談に乗りやすくする体制、子どもの居場所の確保など、保

答 居場所の確保など考えている

問 不登校の子どもの保護者への支援を

護者へのさらなる支援の方策を考えている。

問 ※うまい馬入れ（赤線）などの舗装ができないか。

答 建設課長 道路認定の有無や自治会・地域の要望を確認して、舗装の必要性を検討したい。

ミニ解説

※馬入れ
昔の言葉で、当時農耕馬などが通る細い道



さかた かずひろ
坂田 一広 議員



録画映像は
こちらをCHECK

予算規模の大きい事業の優先順位は

答 各事業費を算出して決めたい

問 事業を実施するには、財源がなければならぬが、財源には限りがある。漆原総社線・給食センター・天神東公園・八幡山グラウンドと予算規模の大きな事業について、優先順位をどのように考えているか。

答 企画財政課長 どれも手掛けたい事業。各事業の事業費を算出して、その結果優先順位を決めたい。

町の財政状況をどう考えるか

答 財源に余裕があるとは言えない

問 令和4年度決算結果を受け、町長は町の財政状況についてどのように考えるか。

答 町長 健全化判断比率数値は、各指標とも早期健全化基準や財政再建基準には達していない状況。しかし、財政分析指標から見ると、財政構造の硬直化が高い水準で、財源的余裕があるとは言えない状況。

答 企画財政課長 町にとって必要な事業を着実に実施するために、各種事業の精査による歳出の削減、国庫補助金などの財源確保を徹底するなど、可能な限り将来に責任を持つ財政運営に努めたい。

問 企業会計の財政状況をどう分析するか。

答 上下水道課長 水道事業は、10年連続で経常収支が黒字で、12年連続で企業債残高が減少している。現段階では比較的安定しているが、類似団体と比較すると数字が低い指標もある。なお、水道施設全体の老朽化は着実に進行しているため、新規加入金の収入に頼っている経営状態などの課題に注視していくことが重要。

下水道事業は、一般会計からの繰入金に依存している状況。類似団体と比較した特徴は、企業債残高対事業規模の比率が高いが、



水道施設全体の老朽化は着実に進行している
(改修工事が進む上ノ原浄水場)

企業債残高は着実に減少している。施設全体の老朽化は着実に進行し、将来的に改築更新費用が見込まれるため、下水道への接続を推進し、使用料収入も重要。

問 町の貯金である財政調整基金の適正規模はどのくらいと考えるか。

答 企画財政課長 町では18億円から20億円程度と考える。

問 町の借金である町債のうち償還の際に交付税措置されるのはどれくらいか。

答 企画財政課長 令和4年度末の町債の現在高は、約83億円。そのうち交付税算入額は、約53億円。

給食費無料化踏み出すべきだ



こいけ はるお
小池 春雄 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 今後も一定負担求めたい

問 予算編成期に当たり、議会の各常任委員会からの要望が出ている。前橋市長選挙にあたり、新聞報道では立候補予定者が学校給食費の無料化を掲げている。榛東村でも無料化の方向。吉岡町も出遅れることなく踏み出すべきである。令和5年第3回定例会でも、3人の議員から無料化を求める質問が出ている。吉岡町の給食が有料だということでは、町外へ引越していくとの声も聞いているとの質問もあった。来年度はぜひとも実施すべきと思うが、対応や対

答 町長 保護者の負担軽減について考慮しつつ、今後も一定の負担を求めている。児童・生徒のバス通学においても、何度も無料化を求めましたが、町長はこれもなかなか進めない。町長は、バス通学を無料にすれば、不公平に

なるとの答弁をしてきた。子どもたちは等しく教育を受ける権利がある。渋川市ではバスのないところには無料のタクシートの対応をしている。何を拒む理由があるのか。
答 教育委員会事務局 長 今後とも実費負担については継続していきたい。

町施設のトイレ洋式化は

改修を順次進めている

問 町公有施設のトイレの洋式化はどの程度進んでいるか。災害時の避難場所として指定もしているが、人が避難してきたときの対応は大丈夫か。
答 町長 公有施設のトイレは、従前から洋式化や手すりの設置、※オストメイト対応などの改修を順次進めている。今後も実態に合わせて対応を進めていきたい。
問 北群馬郡は、吉岡町と榛東村の2町村となっている。私は合併推進論者ではないが、今後どのような共同・協力ができるのかといった協議をしてもいいと考える。ふるさと納税や農産物直売所での協力、温泉施設などの共同、観光ルートればさまざまある。両町村で協議の場を持ち協力を進めては。
答 町長 将来的には吉岡町だけでは実現不可能なことや、コンパクトの弱い事例もこれから増えることが予想される。そうした意味でも、隣接した榛東村と協力を図ることは、引き続き重要な要素となり得るため、どのような分野で協力することが町民にとって有益かを念頭に検討していければと考える。



公有施設のトイレの改修を順次進めていく

三 解説

※オストメイト対応トイレ
さまざまな病気や障害、事故などが原因で、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）と呼ばれる便や尿の出口を手術によりおなかに取り付けている人に対応したトイレ



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員



録画映像は
こちらをCHECK

学童クラブの入所条件の緩和は

答 施設建設と利用者数を見極めて検討

問 少子化対策の根源の1つが児童の放課後見守り。学童クラブの入所条件を緩和できないか。

答 健康子育て課長
入所条件の緩和は施設定員があり、進んでいない。現在学童施設の建設もあること、定員増も考慮し、利用者数の状況などを見極めて、緩和を検討する方針。

問 長期休校期間の学童クラブ入所条件を緩和できないか。

答 健康子育て課長
駒寄幼稚園が学童保育施設を整備するため、長期休校の期間の

みの利用も、園と相談しつつ検討する。

問 町は子どもの増加と少子化傾向が同時進行中。相反する実態にどう対処するのか。

答 町長 将来を見据え、子育てを始め各分野の施策を充実、広い年齢層の人々に選ばれる、住みよい町づ

問 幼稚園バスの居残り防止はどのようになっているか、またその確認は十分か。

答 健康子育て課長
園児居残り防止は、運転手と保育士により、乗降車の都度、園児の名簿(チェックリスト)を使用して確認してい



入所条件の緩和が望まれる
(建設中の認定こども園駒寄幼稚園学童クラブ)

る。さらに置き去り防止を支援する安全装置も設置。町では園に出

向き聞き取り調査するなどの確認をしている。

部活動の地域移行の効果と現状は

答 教職員負担減など明らかに進行

問 教職員の長時間労働改善のため、学

年間の推進計画を定めた。令和7年度には、ほとんどの部活動で、恒常的に休日部活動を地域クラブ活動へ移行する計画。

答 教育委員会事務局
長 地域移行は、令和4年度から始めた。休日出勤日数の減少、教職員の負担感の減少などが明らかに進行している。

問 教職員の保護者対応には複雑な事柄・苦情などがあり、難しい面がある。行政としての現場支援は。

問 本計画の地域移行はいつ頃に完了するのか。町の計画・推進策はどうか。

答 教育長 保護者からの苦情やクレームなどで、学校では対応に苦慮するとの相談に耳を傾け、顧問弁護士にも相談している。実情に応じて全面的にバックアップし、教職員が安心して子どもに向き合えるように支援する。

答 教育委員会事務局
長 令和5年11月に、地域移行推進計画を策定し、令和5年度から7年度までの3

度から7年度までの3

工業誘致エリアその後の対応は



とみおか えいいち
富岡 栄一 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 事業実現に向けた検討を進める

問 駒寄スマートIC西側の工業誘致エリア土地所有者アンケートを採ったが、その後何もしないのか。
答 産業観光課長 担当部署合同の会議の場を設け、検討し事業工程作成に取り組み。
問 前橋市長はどのようになっているのか。
答 町長 吉岡町のエリアと連携し、事業化を進めていければありがたいと言われている。
問 駒寄スマートIC南の交差点では、右折車両が曲がれず渋滞が起きているが、右折車対策は。



防犯カメラの増設を望む

答 建設課長 交通量調査・渋滞長調査の結果を基に検討。
問 犯罪被害者等支援条例制定の予定は。
答 町長 令和5年度中の条例制定を目指す。
問 令和5年9月までの刑法犯認知件数が前年に比べ、42件増加。犯罪抑止・犯罪者早期逮捕に向け、防犯カメラの増設を。
答 総務課長 既存の防犯カメラ更新に高額な費用がかかり、増設は困難と考える。

新駅設置について町の取り組みは



ふじた ゆかり
藤多 ゆかり 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 長期的視野に立った検討を進める

問 吉岡町の価値や魅力を高める新駅は、子どもたちの未来のために必要と思うが、町としての取り組み状況と今後の方向性は。
答 町長 新駅ができた場合の利用者数、設置にかかる巨額の整備費用などの状況を考え合わせ、長期的視野に立った検討・研究を進めていきたいと考えている。
問 児童館の老朽化に伴う整備の予定は。外の遊具が少なく感じるが増設の予定は。
答 町長 修繕工事などを検討したい。遊具の増設は自治会事業などにも利用されて



ここから電車に乗りたい

いるため、自治会の意見も参考にしながら検討したい。
問 イベント会場や避難所などで、子どもや障害のある人、高齢者がおむつの交換や休憩などに活用できる移動式ユニバーサルシートの設置の取り組みは。
答 町長 各公共施設の利用実態に合わせ、検討を進めたい。
答 教育委員会事務局 長 文化センターのオストメイトトイレに、収納式介助ベッドの設置を計画している。



やまぎき もりひと
山崎 守人 議員



録画映像は
こちらをCHECK

天神東公園にホテルの誘致はどうか

答 大変魅力ある提案と捉えている

問 天神東公園の設備、道の駅・振興公社の状況を聞いた上で、提案がある。集客力、売上高向上のために天神東公園にホテルを誘致しないかという提案である。道の駅プロジェクトという計画で、道の駅の一部または隣接する場所にホテルを建設し、地方の観光産業資源の開発、滞在型観光の需要創出を目指した事業となる。建設はホテル運営会社が行い、土地も、運営会社と町、または個人が賃貸契約を締結することで、特段デメリットが発生するものではない



天神東公園にホテル誘致を

答 産業観光課長 提かと考えるが。案のプロジェクトについては、大変魅力ある事業であると捉えている。適正な立地場所などを含め、調査研究する必要があると考えている。

問 先の定例会でも質問したが、防災の観点からも町内に宿泊施設があってもいいのではないかと考えるが。

答 産業観光課長 改めて十分な研究調査検討が必要であり、今後考えていきたいと思っている。

よしおか NO.142



- 問1 今回の定例会は何回目の定例会でしょう。
A. 第4回 B. 第5回 C. 第6回
- 問2 一般質問は何人が行ったでしょう。
A. 10人 B. 11人 C. 12人
- 問3 文化財センターは平成何年にオープンしたでしょう。
A. 29年 B. 30年 C. 31年

応募方法

- ・はがきに答えの記号（例1-A）、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。
- ※個人情報商品の発送のみに使用します。
- ・ご意見やご要望などもあわせてお寄せください。「お便りコーナー」で紹介いたします。

応募先

〒370-3692
吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局

応募期限 3月1日消印有効

賞品 正解者の中から抽選で5人に、図書カード1,000円分をプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の正解は1-C、2-C、3-Cでした。

議会を 傍聴して

障害者に 優しい町を



のろ けいち
野呂 敬一さん
(漆原東)

私は聴覚障害者です。今回も、聴覚障害者の災害に関することなどの質問があり、手話通訳を付けていただき傍聴することができました。

しかし、今回行政の人が回答してくださいるときに、手話を交えていたのを私たちが見ることができなかったのは、とても残念です。それは、手話通訳者が議場でなく傍聴席だった

からです。その傍聴席、車いすはもちろん、足の不自由な人が入りにくいのは残念です。議会で町のいろいろな課題を熱心に取り組んでいらっしゃることを、もっと町の人々に知ってほしいと感じました。障害者・高齢者に対して、優しい町になることを期待しています。